

会派名:公明党西尾市議団

事業実績（研修）報告

1 研修の概要

- (1)目的 全国市議会議長会研究フォーラム
- (2)日時 令和7年8月27日(水)28日(木)
- (3)場所 札幌文化芸術劇場 hitaru
- (4)参加者 大塚久美子議員



(研修会場)

2 研修内容と所感

プログラム

第1日目 8月27日(水)

13:00 開会式

13:20 基調講演

「主権を預かる誇りと責任」

伊吹 文明 元衆議院議員

14:40

パネルディスカッション

「多様な人材の参画促進の観点から
地方議会議員のなり手不足問題を考える」

コーディネーター

辻 陽 近畿大学法学部教授

パネリスト

牧原 出 東京大学教授

白石 洋一 読売新聞東京本社政治部次長

山下 節子 山口県宇部市議会議長

長内 直也 北海道札幌市議会議長

16:40

次期開催地挨拶

終了



(札幌文化芸術劇場 hitaru 自席から)

1 統一地方選挙における投票率の推移



総務省選挙部『よくわかる投票率』（2025年）、23頁

地方議会議員の概況(4)

人口区分 (自治体数)	人口 (平均)	議員定数 (平均)	議員報酬月額 (平均)	住民1人当たり 総議員報酬額 (平均)
5万人未満 (303)		32555	16.8	338624
5万人以上10万人未満 (235)		70893	20.4	404582
10万人以上20万人未満 (145)		138614	25.4	467631
20万人以上30万人未満 (48)		244247	30.8	555247
30万人以上50万人未満 (49)		385006	37.7	608644
50万人以上 (政令市含む) (35)		1057201	52.9	718657

全国市議会議長会「市議会議員定数に関する調査結果：令和6年12月31日現在」
並びに同「市議会議員報酬に関する調査結果：令和6年12月31日現在」より辻作成

第2日目 8月28日(木)

9:00

課題討議

「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

コーディネーター

牧瀬 稔 関東学院大学法学部地域創生学科教授

事例報告者

今井 康善 長野県岡谷市議会前議長

平神 純子 鹿児島県南さつま市議会議員

中野 進 石川県白山市議会議長

11:00 閉会式

求人募集中

裁量労働



月額約21万円

- 福利厚生なし
- 原則として、諸手当なし
- 原則として、昇給なし
- 退職金なし

所感

全国市議会議長会研究フォーラムに参加した。なり手不足のもんだを多方面から考え、そのために、取り組んでいる議会の報告は、なり手不足ではなくても参考になる内容があり大変勉強になった。

近年地方議員のなり手不足に関するトピックが増えている。なり手不足とは一般的には候補者が議員定数に満たない状態と捉えられる。

統一地方選挙における無投票率の推移として、無投票率が高いのは都道府県議会議員選挙と町村議会議員選挙である。市議会議員選挙は無投票率が拡大しているものの低水準である。

本市においては、なり手不足問題とは無縁であるが、昨年の市議選では定員割れするのではないかと思われるほど、立候補の声が聞こえなかった。議員の仕事は、市民には伝わりにくいことも原因のひとつで、議会情報のオープン化、情報共有が必用である。SNSを活用した広報活動の強化、情報の発信、市民参加型の意見交換会や機械報告会の充実、まだまだできることはたくさんあると感じた。現在議会改革検討委員会が発足し、議論を深めている。開かれた議会にするため、そして市民の負託に応えるため、議論を重ねていきたい。

収支報告

項目	支出金額	備考
研修費	9,000 円	
資料購入費	0 円	
旅費	66,196 円	
計	75,196 円	